



平成30年4月採用



## 新規採用職員からのメッセージ

危機管理部危機管理課  
佐藤 克哉（行政事務）

### ●現在の仕事の内容

私が所属する危機管理課では、災害などの危機管理に関する総合企画及び調整の業務を行っています。

その中で私は、危機管理センターの運営に関する業務のほか、災害時に人や物資、情報等が制約される状況下でも、適切に災害対応等の業務を行うための「業務継続計画」に関する業務を担当しています。業務継続計画は、行政自身も被災した東日本大震災の経験を踏まえて策定したもので、私は県庁版の計画の改訂や市町村への策定の支援を行っています。



### ●県職員として働いて感じたこと

県職員として働く前は、毎日パソコンに向かって黙々と事務作業をしているというイメージを持っていましたが、実際に働いてみると、意外に人と接する機会が多いことに驚きました。

特に、私は危機管理センター見学の受入業務を担当しており、県内外の方々に危機管理センターの施設案内を行っています。県民の方々に直接説明を行うため、毎回とても緊張しますが、見学された方々から感謝の言葉をいただくと、頑張っただけ良かったなと実感することができます。

### ●県職員を志望した理由

大学の講座で、県内各地を視察する機会があり、除染廃棄物の仮置場の状況や農業を営んでいる民宿の方に震災後の風評被害の苦労を直接伺いました。その経験をきっかけに、地元福島県の復興業務に携わりたいと思うようになりました。

### ●採用後の研修などについて

危機管理課には私を含め15名の職員がいますが、分からないことには親身になって相談に乗ってもらえるため、安心して日々の業務に励むことができます。また、新規採用職員一人一人にサポート職員の先輩がついているため、入庁間もない頃も心配なく働くことができました。

### ●試験の対策や情報の入手方法

筆記試験対策は、大学の公務員講座を中心に、問題を何度も繰り返し解きました。面接対策では、自分のやりたい仕事や大学時代に頑張ったことについて、しっかり整理しました。また、説明会やジョブトークに積極的に参加したほか、県のHPを中心に情報を集め、福島県の業務内容について理解を深めるようにしました。



### ●受験者へのメッセージ

受験者の皆さんの中には、進路や試験勉強で悩んでいる方も多いかと思います。悩んだ時には家族や友人にたくさん相談し、自分のやりたい仕事ができるよう、夢に向かって頑張ってください！

※掲載内容は、2019年3月現在のものです。